

## 第3学年 保健体育科学習指導案

### 単元名：バレーボール

指導者：

- 1 日 時 : 令和4年9月16日(金) 第5校時  
 2 場 所 : 体育館  
 3 学年・学級 : 第3学年2組 41名 (男子24名, 女子17名(内2名さつき学級))  
 4 単 元 名 : バレーボール

#### (1) 単 元 観

本単元は、中学校学習指導要領 体育分野の E 球技の内容である。球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。(イ) ネット型の第3学年では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することを学習のねらいとしている。その際、ポジションの役割に応じたボールの操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手コートに空いた場所をめぐる攻防を展開すること。また、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、球技に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じたプレイを大切に、健康や安全に気を配り、生涯スポーツへのつながりや関わり方を考えることができる単元である。

#### (2) 生 徒 観

授業への取り組み方についてのアンケート結果は、次のとおりである。

質問内容	否定的評価
1. 授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手が理解しやすいように、わかりやすく伝える工夫をしている。	24%
2. 生じている問題の原因を考え、比較したり予想したりしながら、その問題の解決のために、より良い方法を探している。	24%

アンケート結果から、クラスの4人に1人は、伝え方の難しさや、より良い解決方法を見つけることについて難しさを感じていることが分かる。

本学級は、どの単元においても活発に活動する生徒が多い。しかし、単元によっては苦手意識の方が強く感じてしまい、消極的になってしまう生徒も数名いる。そうした生徒に対してもさりげなく声をかけてくれるクラスメイトもおり、支えることができる生徒もいる。

バレーボールに関しては1学年時に学習しており、個人技能ではオーバーハンドパスの習得を中心に取り組んだ。集団技能では、落下地点を予測することに難しさを感じる生徒が多いため、なかなかボールが繋がらず、ワンバウンドを可としたゲームを中心に取り組んだクラスもあった。

学習内容の関連の例示

	小学校5・6年	中学校1・2年	中学校3年
ボールの操作	味方が受けやすいようにボールをつなぐこと	味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと	攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げる

ボールを持たないときの動き	ボールの方向に体を向けることとボール方向へ移動すること	相手の打球に備えた準備姿勢をとること	ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること
---------------	-----------------------------	--------------------	---------------------------------------

### (3) 指 導 観

ボールの操作やボールを持たないときの動きに着目させ、仲間と連携した動きによって空いている場所を攻撃したり、その攻撃に対応して守ったりすることを中心にチームの特徴を踏まえた作戦を立て、話し合いの場面で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間を大切にできるようにしたい。また、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切に、健康安全も確保できるようにしたい。

単元の前半では、自己や仲間の技能や知識の程度に合わせた練習や練習方法を考えることで、個人技能の向上を目指す。単元の後半では、ゲームを通して見つけた攻防を楽しむための方法をチーム内での話し合いから見つけることができることを目指したい。

そのために、球技の楽しさをより感じることができるよう、ゲームでは第1学年時と同じように、ワンバウンドを可としたゲームも必要ならば導入していきたい。

### (4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の4点である。

<b>【知識及び技能】</b>			
<b>【思考力、判断力、表現力等】</b>	① 伝える力	② 問題解決能力	
<b>【学びに向かう力、人間性等】</b>	③ 協働する力	④ 公共心	

この中から、本単元で育成しようとする資質・能力は次の2点に重点を置くものとする。

#### **【思考力、判断力、表現力等】 ① 伝える力**

・相手コートの空いた場所を見つけ、攻撃する方法や、自分たちのコートの空いている場所を見つけ守る方法を考え、説明する。

#### **【学びに向かう力、人間性等】 ③ 協働する力**

・ゲームを通して見つけた成果や課題をチーム内で共有し、より良い攻防の方法を考える。

## 5 単元の目標と評価規準

○ 単元の目標 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。

**【単元を貫く問い】** バレーボールで攻防を楽しむためには、どうすれば良いだろう。

### ○ 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
○技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解している。	○自己や仲間の技術的な作戦について有効な練習や練習方法の選択について自己の考えを伝えることができる。	○一人一人の違いに応じた挑戦や課題及び修正を大切にしようとしている。
○様々な動きに関連したプレイの判断に着目し観察することが大切	○作戦などの話し合いの場面で、	○球技の学習に自主的に取り組もうとしている。

だということを理解している。 ○ボールを相手側のコート の空いた場所に打ち返す ことができる。	合意形成するための関わり方 を見つけ、仲間に伝えること ができる。	
--	---	--

6 指導と評価の計画 全7時間 (本時は3/7)

次	学習内容 (時数)	評価					
		知 技	思 判 表	主 体	評価規準	評価方法	資質・能力 (評価方法)
1	オリエンテーション 基本技能・知識	◎			〔知技〕技術はボール操作 とボールを持たないとき の動きに大別できること を理解している。	行動観察 ワークシ ート	
2	簡易ゲーム ・1バウンド可 ・ワンボール不可			◎	〔主体〕球技の学習に自主 的に取り組もうとしてい る。	行動観察	
3	攻撃的返球		◎		〔思判表〕自己や仲間の技 術的な作戦について有効 な練習や練習方法の選択 について自己の考えを伝 えることができる。	ワークシ ート	①伝える力 (ワークシート)
4	攻撃的な返球に対 する守備		◎		〔思判表〕作戦などの話合 いの場面で、合意形成す るための関わり方を見つけ 、仲間に伝えることができ る。	ワークシ ート	①伝える力 (ワークシート)
5	チーム練習 ゲーム			◎	〔主体〕一人一人の違いに 応じた挑戦や課題及び修 正を大切にしようとして いる。	行動観察	
6	チーム練習 ゲーム (実技テスト①)	◎			〔知技〕様々な動きに関連 したプレイの判断に着目 し観察することが大切だ ということを理解してい る。	行動観察 ワークシ ート	③ 協働する力 (行動観察) (ワークシート)
7	総当たり試合 (実技テスト②)	◎			〔知技〕ボールを相手側の コートの空いた場所に打 ち返すことができる。	行動観察 ワークシ ート	

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

より攻撃的な返球で得点を奪おう。

### (2) 観点別評価規準

◎自己や仲間の技術的な作戦について有効な練習や練習方法の選択について自己の考えを伝えることができる。

評価方法：ワークシート

### (3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①伝える力	A いつどのような場面でより攻撃的な返球をすればよいのかを、複数見つけ、説明することができる。
	B いつどのような場面でより攻撃的な返球をすればよいのかを1つは説明することができる。
	C Bを満たしていない。

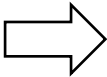
### (4) 準備物：バレーボール、ネット2セット、得点版、ワークシート、ホワイトボード

### (5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 （評価方法）
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集合、整列、出席確認</li> <li>○体操、ドリル</li> <li>○前時の振り返り</li> <li style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px; display: inline-block;">課題の設定</li> <li>○本時の目標の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール感覚を養わせる。</li> <li>・前時の振り返りをしながら、攻撃的な局面を考える本時の目標につなげる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【本時の目標】より攻撃的な返球で得点を奪おう。</div>			
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より攻撃的な返球にはどのようなものがあるか考える。（個人）</li> <li>【予想される生徒の考え】</li> <li>・スパイク</li> <li>・だれもいないところ</li> <li>・コートの後ろ側</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時におこなったゲームを振り返り、より得点につながりやすそうなことを考えさせる。</li> <li>◆グループ協議で一人一回は伝えられるように、前時の振り返りを記入させておく。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffff00; padding: 10px;"> <span style="margin-left: 10px;">【主体的・対話的な学びの時間】</span>                      より攻撃的な返球を、いつどのような場面で活用していくかグループ内で共有していく。                 </div>			

	<p>○個人で考えたことをグループで協議する。出てきた意見から、次に行うグループ練習を決める。 (目標2つ)</p> <p>○グループ練習</p> <p>○ゲーム ・1試合5分</p>	<p>・自分のチームができそうなより攻撃的な返球を考える。</p> <p>・役割に応じた練習を行う。</p> <p>・グループ練習で身に付けたことをゲームで発揮する。</p>	<p>○自己や仲間の技術的な作戦について有効な練習や練習方法の選択について自己の考えを伝えることができる。(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A より攻撃的な返球について、2つ書いている。</p> <p>B より攻撃的な返球について、1つ書いている。</p> <p>C 何も書けていない。</p> </div>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>○本時の振り返り グループ協議 【予想される生徒の考え】</p> <p>・スパイク</p> <p>・だれもいないところ</p> <p>・手の届かないところ</p> <p>○次時について</p> <p>○後片付け</p>	<p>・どのような返球が得点に結びつきやすかったのか、振り返る。</p> <p>◆自分のチームや対戦したチームのどちらともで考えてみる。</p> <p>・より攻撃的な返球に対する守り方を考える。</p>	<p>☆伝える力 (ワークシート)</p> <p>いつどのような場面でより攻撃的な返球をすればよいのかを1つは説明することができる。</p>

(6) 板書計画

<p>【本時の目標】より攻撃的な返球で得点を奪おう。</p> <p>振り返り：どのような返球が得点に結びつきやすかったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スパイク</li> <li>・誰もいないところ</li> <li>・コートの後ろ側</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: right;">次時：守り方を考える。</p>
--

# バレーボール ワークシート②

組 番 名前 \_\_\_\_\_

## 1. ゲーム振り返り


## 2. 【 より攻撃的な返球で得点を奪う。 】

(個人)

(グループ1)

(グループ2)



(振り返り) どのような返球が得点につながったのか


## 3. 【 得点を取られない守り方を考える。 】

(個人)

(グループ)



(振り返り) 得点されるのを防ぐことができた守り方
